

令和7年度 病虫害発生予察情報(美濃地域) 9月予報

【 果樹 】

カメムシ類 * 病虫害発生予察注意報第2号 (R7.5.23付) 発表

岐阜市則松に設置した予察灯では、8月上旬からチャバネアオカメムシの誘殺数が平年を上回っています。すでに一部のほ場では飛来が確認されているため、十分な注意が必要です。今後も高温傾向が予想されており、現在被害が認められていないほ場でも飛来する可能性があるため、観察と防除を徹底してください。(裏面参照)

【 大豆 】

ハスモンヨトウ * 病虫害発生予察注意報第5号 (R7.8.4付) 発表

岐阜・西濃地域に設置したフェロモントラップへの誘殺数が平年を大きく上回っています。本年は平年と比較し高温で推移しており本虫の増殖に好適な条件が続くと考えられるため、ほ場での発生に十分注意し、発生が認められた場合は若齢幼虫のうちに防除を実施してください。(裏面参照)

○主な病虫害の発生時期及び防除時期 (9月)

	病虫害名 (防除適期)		生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
				1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水 稲	生育(ハツシモ)		並	＜穂ぞろい＞						・8/15調査（6/10田植：農業技術センター）
	穂 い も ち		少		＜発生最盛期＞					・ <u>穂いもち</u> 穂ばらみ期～穂揃期に防除を実施する。
	トビイロウンカ		少							
	ツマグロヨコバイ		やや少		＜第4世代幼虫＞					・ <u>ツマグロヨコバイ</u> 幼虫最盛期に防除を実施する。
	斑点米カメムシ類		多	本 田 へ の 侵 入 （ 出 穂 以 降 ）						・ <u>斑点米カメムシ類</u> 穂ぞろい期～乳熟期に防除を実施する。
	防 除 適 期			▲ ～ ▲穂いもち・斑点米カメムシ類・ツマグロヨコバイ						
大 豆	生育(フクユタカ)		並		＜着莢＞					
	カメムシ類		多	本 ぽ へ の 侵 入 （ 着 莢 期 以 降 ）						・ <u>カメムシ類</u> 着莢期から子実肥大期に防除する。
	ハスモンヨトウ		多	＜ 発 生 量 増 加 ＞						・ <u>ハスモンヨトウ</u> 白変葉を認めたら直ちに防除する。
	防 除 適 期									
か き	岐阜西濃 中 濃	ハマキムシ類	多							・幼虫発生初期の防除を徹底する。
			多							・着色始期までに防除を実施する。
	防 除 適 期									
な し	黒 星 病	少			＜ 発 生 量 増 加 ＞				・収穫後の秋期防除を徹底する。	
	防 除 適 期			▲黒星病 ～						
果 樹	カメムシ類		多	＜ 新 世 代 成 虫 ＞						・飛来が認められた場合は直ちに防除を実施する。
	防 除 適 期									
野 菜	灰色かび病		やや少	＜ 発 生 量 増 加 ＞						・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避ける。 ・ <u>灰色かび病</u> 花がらや葉先枯れは感染源となるため取り除く。 ・ <u>アブラムシ類</u> 苗からの持ち込みに注意する。 ・ <u>ハスモンヨトウ・タバコガ類</u> 若齢幼虫期の防除を徹底する。 ・ <u>コナジラミ・アザミウマ類</u> 施設栽培では虫媒性ウイルスへの感染防止のため、防虫ネット展張による侵入防止と定植時の粒剤施用を徹底する。
	ハスモンヨトウ		多	＜ 発 生 量 増 加 ＞						
	タバコガ類		多	＜ 発 生 量 増 加 ＞						
	アブラムシ類		並							
	コナジラミ類		多							
	アザミウマ類		並							
	防 除 適 期									

注1) ▲、▲～▲：防除適期
注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃及び東濃地域
注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

吸実性カメムシ類（大豆）

西濃地域では、予察灯によるカメムシ類の誘殺が平年より多く認められています（図1）。成虫は莢の伸長後期から子実肥大中期を最も好むことから、着莢期から子実肥大期の防除を確実に実施してください。

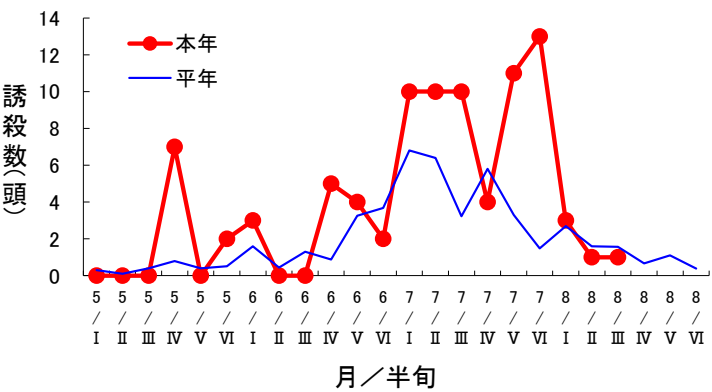


図1 予察灯によるミナミアオカメムシ誘殺数の推移
(海津市海津町平原)

ハスモンヨトウ（大豆） * 病害虫発生予察注意報第5号（R7.8.4付）発表

海津市に設置したフェロモントラップでの誘殺数は6月中旬以降大きく増加し、岐阜・西濃地域では平年より多く推移しています（図2、3）。また、若齢幼虫の食害による白変葉が、岐阜・西濃地域において7月下旬のほ場調査で確認され、平年に比べ被害の発生が早まっています。今後の気象は、降水量は平年より少なく、気温は平年より高いと予想され、本虫の発生に好適な条件が続きます。ほ場での発生状況に十分注意し、若齢幼虫期に防除を実施してください。

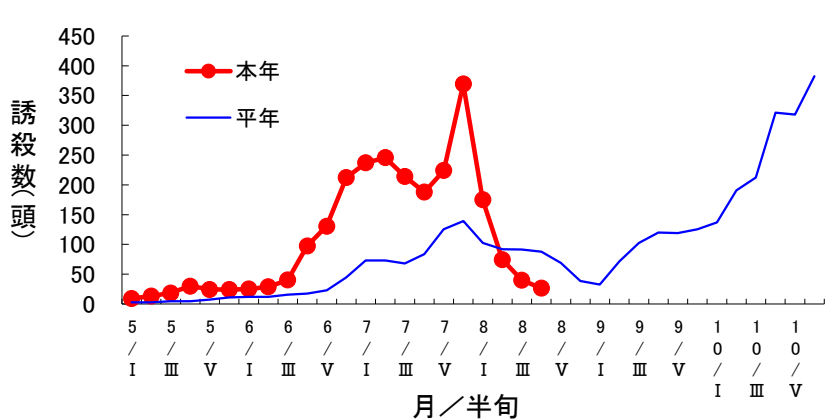


図2 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数の推移
(海津市海津町平原)

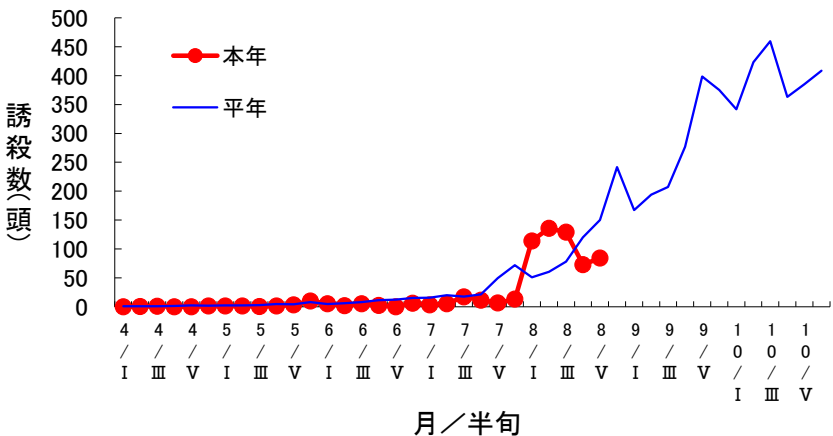


図3 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数の推移
(岐阜市又丸)

果樹カメムシ類 * 病害虫発生予察注意報第2号（R7.5.23付）発表

果樹カメムシ類は通常8月上旬以降増加します。岐阜市に設置した予察灯では、チャバネアオカメムシの誘殺数が平年を上回っています（図4）。また、チャバネアオカメムシ新世代成虫が果樹園に飛来する目安となるヒノキ毬果の口針鞘数（カメムシの吸汁痕）が増加しています（表）。口針鞘数が1果当たり25本に達すると、ヒノキ林からの離脱が始まるとされていますが、地点によっては9月上旬には離脱が始まると予測されます。カメムシの飛来を確認したら、直ちに防除を実施してください。

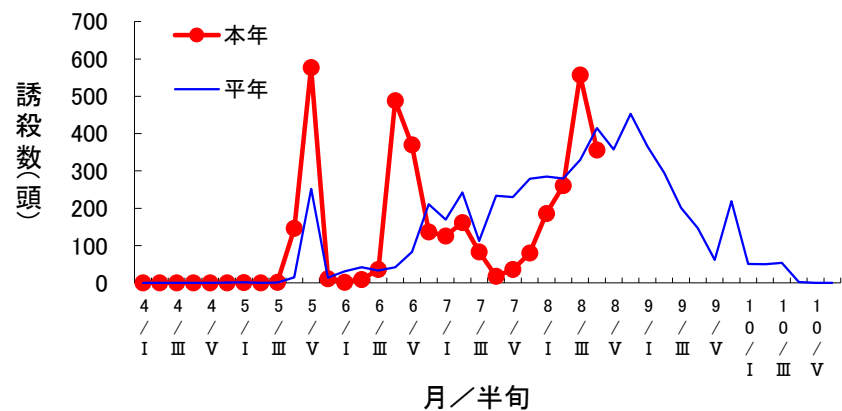


図4 予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（岐阜市則松）

表 ヒノキ1果当たりの口針鞘数	(本/果)			
	岐阜市 東秋沢	大野町 寺内	美濃加茂市 山之上	美濃市 曾代
8月上旬	—	—	3.7	—
8月中旬	25.2	12.1	—	2.0
8月下旬	—	21.4	13.1	—

農薬の安全使用に努めましょう！！

農薬の散布後は、薬液タンクだけでなく散布機のホース内にも薬液が残らないよう、ていねいに洗浄しましょう。

東海地方1か月予報（名古屋地方気象台 8月21日発表）

向こう1か月の天候は、気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多いと予想されています。暖かい空気に覆われやすいため気温は高くなるでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他にも病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058)239-3161 FAX (058)234-0767



岐阜県病害虫防除所
トップページ
二次元バーコード